

「認知症安心ガイドブック」の改訂について

1. 認知症安心ガイドブックについて

【新オレンジプランでの位置付け】

地域ごとに「認知症ケアパス」を確立し、認知症の人やその家族、医療・介護関係者等の間で共有され、サービスが切れ目なく提供されるようにその活用を推進します。

【本市の認知症ケアパス（認知症安心ガイドブック）作成の目的】

認知症の状態に応じて、どのようなサービスや支援を利用できるのか、サービス提供の流れや相談機関を明らかにし、市民への周知と普及を推進する。

【これまでの経緯】

- ・平成 28 年 4 月に初版を発行。区役所、出張所、地域保健福祉センター、地域包括支援センター等に設置。
- ・平成 30 年 1 月末で約 42,000 部を配布。
- ・平成 30 年 4 月に事業内容や関係機関の情報等を時点修正した第 2 版を発行。

2. 改訂の目的

新潟市地域包括ケア計画における認知症施策の取組方針に合わせ、以下の内容を充実。

- ・認知症予防 ・軽度認知障がい（MC I）への対応 ・若年性認知症

3. 主な改訂の内容

①表紙の裏

- ・「はじめに」として、このガイドブックを読む方へのメッセージ等を掲載
- ・目次に主な分類を記載

②P.1～P.3「認知症とは」

- ・「認知症の症状」を冒頭に記載（P.1、P.2）
- ・軽度認知障がいの段階での早期対応の重要性について絵を用いて説明（P.3）
- ・認知症簡単セルフチェックを追加（P.4）

③若年性認知症についてのページを充実（P.5）

④P.6、P.7「認知症の進行と主な症状の例」

- ・本人・家族向けアドバイスのアドバイス内容を具体的な内容に修正

⑤P.13～P.19「利用できる制度やサービスの主な例」

- ・巻末にあった問い合わせ先・連絡先をそれぞれの該当箇所に記載
- ・「認知症の予防について」を追加（P.16）
- ・「こんなパンフレットもあります」を追加（P.19）